

円満想続の3K「感謝・絆・供養」

月刊ニュースレター

想 続

Vol. 10 (2011年7月号)

発行：一般社団法人 日本想続協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-4-1 岡野ビル 4F

TEL 03-3404-1225 FAX 020-4664-9664

E-mail [info@n-sk.org](mailto:info@n-sk.org) (担当：内田)

☆定期購読（無料）をご希望の方は上記へどうぞ！

## 事業承継あれこれ

こんにちは。税理士の内田麻由子です。事業承継にもいろいろなスタイルがあるようです。

ある泥棒の親子がいました。親がだんだんと年をとり衰えていく様子を見ている子供が、これは何とかしなければと思います。そこである夜、父親に泥棒の奥義を教えろと迫ります。親は子供に「じゃあ、今晚一緒に来い」と言い、二人で豪家に夜盗に入りました。父親は子供に対して、衣装が沢山詰まっている長もちの中に入れと指示します。子供は長もちに入りどんどん衣装を外に投げ出します。

すると突如として、父親は、その長もちのフタをパチンとしめて、外から頑丈な鍵をかけてしまいました。次に素早くその家から外へ逃れ去り、外で「ドロボーだーッ」と騒ぎ立てました。子供は、親たる者が何たることだと恨みます。

そのうちにバタバタと騒々しい音がして家の者が起きてきます。万事休すです。そのとき子供はふと思いついて「チュウチュウ」とネズミの鳴き真似をします。家中の人たちは、長もちの中にネズミがいると言い、鍵をあけフタを持ちあげた途端に、子供はそこから飛び出して脱兎のごとく庭に飛び下り、石を拾うとそばにあった井戸に投げ込んで逃げ出します。追いかけてきた連中は、ドボンという音を聞き、井戸に泥棒が身を投げたと言って井戸の周りに集まってきます。子供はその隙に何とか逃げ去りました。

家に戻り、「何たる非情なやり方よ」と親をなじりましたが、親は「では、どう

やって逃げ出したか言ってみろ」と言います。子供は、自分が逃げてきた様子を話します。それを聞いた親は、にっこり笑って「夜盗の術、その奥義をおまえに伝授した」（井上暉堂「臨濟録入門」より）。

獅子は我が子を谷底に突き落とすと言いますが、この泥棒親子の絆、信頼関係はあっぱれですね。「今日からお前に全て任せる、失敗してもいいからお前の好きなようにやってみろ」とはなかなか言えないものです。

～ ☆ ～ ☆ ～ ☆ ～

先日、世田谷でたまたま入ったとんかつ屋さん。70歳位のご主人とその奥さん、息子夫婦の家族4人で店を切り盛りしています。ご主人がとても柔和な笑顔で、はじめて店に入った私に気さくに話しかけてくださいましたので、お話をお伺いしますと、この地に創業して50年とのこと。ご商売を長く続ける秘訣は何ですか、とお聴きしますと、「そうさね、正直な値段でやることかな」とおっしゃいます。そのお言葉どおり、安くてとても美味しいとんかつです。跡を継いでくれる頼もしい息子さんがいらしてお幸せですね、と申し上げました。よく見ていると、厨房は息子さんに任せて一切口を出さず、ご主人は厨房に入りもしません。料理を運んだりレジを打ったりお客さんとおしゃべりしながら営業しているのですね。常連の団体さんを店の外まで見送り、そこでもまたおしゃべりして、店の中では奥さんに「お父さんまだ話してるの～」などと言われています。ご主人のお人柄とご家族のチームワークが素晴らしく、見事に事業承継ができているお店でした。

～ ☆ ～ ★ ～ ☆ ～ ★ ～ ☆ ～

**相続&想続を楽しく学ぶ『想続塾』を、赤坂区民センターにて、毎月開催しています。ご夫婦や親子、お友達とどうぞお気軽にご参加くださいね！詳しくはご案内チラシにて。**

**★7月30日（土）14：00～16：00 第10回想続塾**

**「サザエさん家で学ぶ！生前贈与でHappy相続対策」税理士 内田 麻由子 氏**

**★8月25日（木）14：00～16：00 第11回想続塾**

**「長生きと介護と心 ～生き抜くとは？～」社会保険労務士 川端 薫 氏**